

2015年8月10日

各 位

薬剤部／薬品情報室（D I 室）


D I ・ BOX # 0 8 2 3 （訂正版）

「エルカルチン錠100mg」のオーダ中止と
「エルカチンFF錠250mg」のオーダ開始及び投与量換算について

レボカルニチン製剤「エルカルチンFF錠250mg」（大塚製薬）は、「エルカルチン錠100mg」（大塚製薬）（販売中止）と交換採用となりました。市場流通在庫が僅小となったため、「エルカルチン錠100mg」は当院取扱を中止します（院外処方も不可）。これに伴い平成27年8月7日（金）より「エルカルチンFF錠250mg」のオーダを開始します。

なお、「エルカルチン錠100mg」及び「エルカルチンFF錠250mg」はレボカルニチンを主成分としますが、「錠」は塩化物、「FF錠」はフリー体であることから、エルカルチン含量が異なります。すなわち、エルカルチン錠100mgはエルカルチンFF錠83mgに相当するため投与量に注意して下さい。

両剤共潮解性があり粉砕調剤が出来ないため、微量な用量調節が必要な場合を考慮し「エルカルチンFF内用液10%」が共通採用となっています。また「エルカルチンFF錠100mg」は院外採用となっています。

	オーダ開始	オーダ中止（販売中止）
オーダ名	エルカルチンFF錠250mg	エルカルチン錠100mg
成分名／規格	レボカルニチン 250mg／錠	レボカルニチン塩化物 100mg／錠（レボカルニチンとして83mg）
適応症 用法・用量	・カルニチン欠乏症： [成人] 1日1.5～3gを3回に分割経口投与。患者の状態に応じて適宜増減 [小児] 1日体重1kgあたり25～100mgを3回に分割経口投与。患者の状態に応じて適宜増減	・カルニチン欠乏症： [成人] 1日1.8～3.6gを3回に分割経口投与。患者の状態に応じて適宜増減。 [小児] 1日体重1kgあたり30～120mgを3回に分割経口投与。患者の状態に応じて適宜増減。
外観写真		
区分	処方／共通 平成27年8月7日（金）より オーダ開始	オーダ中止 （院外処方も不可）

* 詳細・不明な点につきましては医薬品情報室（3194）までお問い合わせください。

* 「DI・BOX」は電子カルテ（EGMAIN）の掲示板およびイントラネットで参照・検索できます。